

2 業 務 概 要

2・1 微生物科

2・1・1 調査研究

前年度に継続して「ウイルス感染症の疫学調査」を行った。6小児医療機関（鳥取市、倉吉市、米子市各2機関）を検体採取定点として、患者からのウイルス分離と同定、必要に応じて血清学的検査を行って、原因ウイルスを追究するとともに流行の実態把握に努めた。この調査は、「感染症サーベイランス事業」における検査情報提供も兼ねており、無菌性髄膜炎に関しては米子市でさらに1定点を追加した。また、一般健康者のインフルエンザ、風疹、麻疹に対するHI抗体保有状況について調査した。その他に本年度は、鳥取市街地河川水の腸管系病原菌による汚染状況調査と小児下痢症の原因菌調査をあわせて行った。

2・1・2 試験検査

行政委託検査では食中毒検査、畜水産物中の残留抗生物質検査、収去食品の細菌検査、サルモネラ、腸炎ビブリオなどの同定依頼検査があり、各種の水質検査における細菌項目は当科において担当した。

窓口受託検査では風疹抗体検査、梅毒血清検査が多く、ほかに病原菌の分離同定検査、ムンプス、麻疹など風疹以外のウイルス血清検査と飲料水、使用水、下排水の細菌検査、医薬器材の無菌試験などがあった。

2・2 食品化学科

2・2・1 調査研究

「畜産物中の有機塩素系農薬残留量実態調査」を昭和58年度から実施することになったが、本年度は小数検体の測定のみで終わった。その他として、地方衛生研究所全国協議会の「日本国民の栄養摂取量の地域差に関する研究」に協力機関として、昭和57年度に引き続き参加した。

2・2・2 試験検査

行政委託試験として、昭和58年度は「食品等の残留農薬試験」、「PCB及び水銀に関する試験」、「畜水産食品中の合成抗菌剤試験」、「家庭用品試験」及び「生物指標環境汚染測定調査」（環境庁委託）についての業務を行った。そのほか、保健所からの行政委託及び一般からの窓口受託試験として、食品衛生化学試験、残留農薬試験及び薬事試験を行った。

昭和58年度は、薬事試験の1部について基準不適のものがあったほかは、基準値あるいは規制値を超過したものはなかった。

2・3 水質調査科

2・3・1 調査研究

昭和55年度から継続している「湖沼の汚濁機構の調査」を、昭和58年度も引き続き中海、湖山池、東郷池で実施した。

2・3・2 試験検査

水質汚濁防止法第16条に基づき、公共用水域（湖山池、東郷池、多鯰ヶ池、中海および美保湾）の水質常時監視を実施するとともに、千代川ほか13河川のPCB分析、日本海沿岸海域の健康項目、油分の分析を行った。このほか行政委託調査として中海水質監視強化調査、境港市竹内地区埋立事業に伴う美保湾の水質調査、佐治川ダムと百谷ダムの水質調査、鳥取港、田後港、泊港、網代港の浚渫に伴う土砂検査、また、環境庁の委託事業として中海について湖沼水質総量規制検討調査を実施した。

窓口受託検査は企業局の佐治川、八東川、茗荷谷ダム、中津ダムの水質検査、運輸省境港工事事務所、一般企業などからの浚渫に伴う土砂の検査、湖沼水などの水質検査を実施した。

2・4 水質環境科

2・4・1 調査研究

新規事業として「小規模給水施設等水道未設置地区の水質調査」を3ヶ年計画で実施することとし、本年度は、県東部地区65施設について行った。また県下温泉地の全源泉について「温泉の実態調査」を引き続き実施した。

2・4・2 試験検査

排水、産業廃棄物、飲用水、雑用水及び温泉について、行政委託検査と一般依頼による受託検査を行った。

2・4・3 廃水処理

県東・中部地区の試験研究機関等の有害物質含有の試験室廃水 10,500 ℓ を処理した。

2・5 大気騒音科

2・5・1 調査研究

大気汚染のうち、本県で例年春季に認められる高濃度Oxの原因を究明しているが、これについての知見を「春季における光化学オキシダントについて」として、鳥取県公衆衛生学会および中国地区公衆衛生学会で発表した。

低周波空気振動調査については、昨年に引き続き、今年は「風による低周波空気振動について」として、調査結果をまとめた。（P 26）

放射能測定調査結果は、「陸水、各種食品及び土壌の放射能測定調査報告書(26)」に収録・刊行した。

その他、環境庁の委託による酸性雨成分分析調査に参加した。

2・5・2 試験検査

大気汚染防止関連業務として、大気汚染監視局(衛研局)の運用、および煙道排ガス測定と事業場の燃料(重油)中の硫黄分を分析した。

他に依頼を受け、旧鳥大演習林の防風・防塩効果に関する現況調査を実施した。

自動車公害調査は、鳥取市街頭における一酸化炭素濃度の測定と、鳥取・倉吉・米子・境港の四市における実態調査を例年どおり行った。

騒音振動調査は、事業場から依頼がありこれを行った。

悪臭調査は、県の計画に基づき、悪臭発生事業場の調査及び地域指定に係わる調査と市町村の委託検査を実施した。

2・6 研修指導

期 日	名 称 ・ 課 題	担 当 者	場 所
58. 5. 16	県立歯科衛生専門学校学生研修 ・臨床検査実習	寺谷 巖 科 長	鳥 取 県 衛生研究所
58. 11. 24	保健所、衛生研究所試験検査技術研修会		鳥 取 県 衛生研究所
}	・サルモネラ・シゲラ・ビブリオの同定検査	寺谷 巖 科 長	
	11. 25	・わが国の食品添加物製造の現状 ・液体性食品と魚の反応 ・水質分析精度管理 ・環境庁告示第140号で告示された全窒素分析法 ・飲用水中のトリハロメタンの試験	
58. 11. 30	鳥取県東部地区高等学校理科教育研究会	宮田年彦 科 長	鳥 取 県 衛生研究所
58. 12. 15	伝染病予防接種事業担当者研修会 ・ウイルス感染症の血清検査(HI抗体価) ・ウイルス生ワクチン最近の課題 — ポリオ生ワクチンを中心に —	寺谷 巖 科 長 石田 茂 研究員	倉 吉 市
59. 3. 28	特定化学物質作業主任者技能講習会 ・作業環境の改善方法	宮田年彦 科 長	倉 吉 市

2・7 会議・研修会・学会参加

期 日	名 称 ・ 課 題	参 加 者	場 所
毎 月 1 回	感染症サーベイランス解析委員会	深澤義明 所長 寺谷 巖 科長 石田 茂 研究員	鳥取市と米子市(隔月)
58. 4. 5 ~ 6	第57回日本感染症学会総会	井上睦子研究員 石田 茂 研究員 佐々木陽子研究員	大 阪 市
58. 4. 9	風疹検査打合せ会	寺谷 巖 科長	米 子 市
58. 5. 7	風疹対策事業打合せ会	寺谷 巖 科長	米 子 市
58. 5. 10	昭和58年度全国公害研協議会中国四国支部会議	深澤義明 所長	高 知 市
58. 5. 13	保健所、衛生研究所所長、総務課長会議	深澤義明 所長 小林高明 課長	倉 吉 市
58. 5. 24	第37回地方衛生研究所全国協議会中国四国支部会議	深澤義明 所長 小林高明 課長 寺谷 巖 科長 浅井 篤 科長 平野温馬 科長	広 島 市
58. 5. 24	昭和58年度放射能調査委託に関する打合せ会	宮田年彦 科長 浜田昭夫 課 長 補 佐	東 京 都
58. 6. 2	第12回全国公害研協議会総会	深澤義明 所長	東 京 都
58. 6. 7	昭和58年度化学物質環境汚染実態調査打合せ会	林田博通研究員	東 京 都
58. 6. 10	第51回日本感染症学会西日本地方会 ・無菌性髄膜炎等からのエコーウイルス30型の分離	石田 茂 研究員	徳 島 市
58. 6. 21~22	昭和58年度地方衛生研究所所長会議及び地方衛生研究所全国協議会臨時総会	深澤義明 所長 助飛羅宗豊次長	東 京 都
58. 6. 24	地方衛生研究所試験担当者講習会(薬事)	浅井 篤 科長	東 京 都
58. 6. 30	第 4 回衛生微生物技術協議会研究会	寺谷 巖 科長 田中球英研究員 井上睦子研究員 佐々木陽子研究員	松 江 市

期 日	名 称 ・ 課 題	参 加 者	場 所
58. 7. 9	第1回中国・四国ウイルス研究会 ・腸重積症患者からの分離ウイルス	石田 茂 研究員	岡 山 市
58. 7. 12	海水浴皮膚炎対策研究班打合せ会	寺谷 巖 科長	倉 吉 市
58. 7. 14	鳥取県会計事務研究会総会	助飛羅宗豊次長	倉 吉 市
58. 7. 14	第26回鳥取県公衆衛生学会 ・3次元表示を用いたインフルエンザ流行の解析 ・鳥取市内の河川における細菌汚染について ・RPHA法によるロタウイルスの検出 ・魚介類中の有機塩素系農薬残留量調査結果について(その2) ・春季における高濃度光化学オキシダントについて	井上陸子研究員 佐々木陽子研究員 石田 茂 研究員 林田博通研究員 畦崎俊通研究員	鳥 取 市
58.8.22~9.9	水質分析研修	山内佳見研究員	所 沢 市
58. 9. 19	第29回中国地区公衆衛生学会評議員会	深澤義明 所長	松 江 市
58. 9. 20	第29回中国地区公衆衛生学会 ・魚介類中の有機塩素系農薬残留量調査結果について(その2) ・春季における高濃度OXについて	林田博通研究員 畦崎俊敬研究員	松 江 市
58. 9. 27	化学物質環境調査結果打合せ会議(西日本ブロック)	谷口富久子研究員 林田博通研究員	山 口 市
58.9.29~30	第20回全国衛生化学技術協議会年会	田中長義研究員	宇 都 宮 市
58.10.3~15	第6回環境放射線モニタリング技術課程研修	山根一祐研究員	千 葉 市
58. 10. 4	保健所衛生研究所所長会	深澤義明 所長 助飛羅宗豊次長	鳥 取 市
58.10.5~6	第31回日本ウイルス学会	石田茂 研究員	大 阪 市
58. 10. 11	全国公害研協議会中国四国支部第10回大気部会	宮田年彦 科長	岡 山 市
58. 10. 19	全国公害研協議会中国四国支部第10回水質部会	安田満夫 科長	高 松 市
58.11.7~8	第34回全地研協議会秋期総会及び次長庶務課長会議	助飛羅宗豊次長	横 浜 市
58. 11. 11	東部地区会計事務担当者研修会	浜田昭夫 課長補佐 田中昭子 主任(主事)	東 伯 郡 朝 町
58.11.15~16	全国公害研協議会理事会及び秋期総会	深澤義明 所長	四 日 市 市

期 日	名 称 ・ 課 題	参 加 者	場 所
58. 11. 16～18	昭和58年度食品化学講習会	浅井 篤 科長	東 京 都
58. 11. 24～25	保健所衛生研究所試験検査技術研修会	寺谷 巖 科長 田中長義研究員 安田満夫 科長 山内佳見研究員 宮原典正研究員	鳥 取 市
58. 12. 7	昭和58年度食品衛生年末年始業務打合せ会	寺谷 巖 科長	鳥 取 市
58. 12. 7	第25回環境放射能調査研究成果発表会	宮田年彦 科長	東 京 都
58. 12. 8	第10回環境保全公害防止研究発表会 ・鳥取県内湖沼底質の特徴について	笈 一 郎研究員	東 京 都
59. 1. 11	保健所衛生研究所次長・総務課長及び課長補佐会議	助飛羅宗豊次長 浜田昭夫 課長補佐	気 高 郡 浜 村 町
59. 2. 7. ～ 9	H B s抗原抗体検査研修会	寺谷 巖 科長 石田 茂研究員	米 子 市
59. 2. 14 ～ 16	H B s 抗原抗体検査研修会	田中球英研究員 井上睦子研究員 佐々木陽子 研究員	米 子 市
59. 2. 21	環境測定分析統一精度管理調査結果検討ブロック会議	宮原典正研究員	高 知 市
59. 2. 29～3.2	環境科学ゼミナー	林田博通研究員	所 沢 市
59. 3. 2	B型肝炎対策事業打合せ会	寺谷 巖 科長 田中球英研究員 井上睦子研究員 石田 茂研究員 佐々木陽子 研究員	鳥 取 市
59. 3. 5 ～ 6	家庭用品安全対策担当係長会議	浅井 篤 科長	東 京 都
59. 3. 11	第12回山陰地区感染症懇話会集会	寺谷 巖 科長 田中球英研究員 石田 茂研究員	松 江 市
59. 3. 27	昭和59年度食品関係事業計画説明会並びに食品衛生関係伝達講習会	田中長義研究員	鳥 取 市
59. 3. 30	風疹予防対策事業打合せ会	寺谷 巖 科長	米 子 市

鳥取県衛生研究所

2・8 依頼先別検査数調(58年度)

検査別 依頼先等区分	区分		細菌検査	ウイルス・リケッチャ等検査	原虫・寄生虫等	結核	性病	食中毒	食品検査	水質検査	廃棄物関係検査	公害関係検査	一般環境	放射能	温泉(鉱泉)泉質検査	家庭用品検査	薬品	栄養	その他	計
	件数	項目																		
保健所	5	2,036	1	26	52	283	52	52	29											2,536
	10	2,036	1	44	263	1,468	52	52	57											3,983
保健所以外の行政機関				92						138	3	127			1					361
				93						558	30	505			35					1,221
医療施設	25	1,421	4	2,106						1										3,610
	28	1,534	4	5,322						5										6,946
学校及び事業所									10	190	7	20			7		22		15	271
									101	788	62	53			83		28		30	1,145
その他										9		1			5		6			26
				11						76		12			81		41			221
自ら行うもの	300	4,812	8	100					38	286		9,133		722	243			6		15,648
	1,822	8,744	8	100					305	3,228		116,373		9,841	1,278			36		141,735
計	330	8,269	12	2,329	52	331	676	10	9,333	29	28	6	15	22,452						22,452
	1,860	12,314	12	5,570	263	1,874	4,707	92	116,995	57	69	36	30	155,251						155,251